

はなまるリトル

3年生 社会





この本の特色と使い方

■はじめに

四谷大塚では、小学校6年間を通して優秀児を育てる教育を行っています。その中で、1～3年生を知能開発期と位置づけ、各教科の学習を通して知能を伸ばすことを目的に通信教育「リトルくらぶ」を平成8年4月からスタートしました。子どもの興味・関心・集中力を育み、考える力を伸ばすことがその基本方針です。しかし、知能開発を行う前提として、教科書の内容をしっかりと理解しているかが大変重要になってくることはいうまでもありません。

「はなまるリトル」は、各教科の内容をご家庭で効果的に確認でき、自然に知能開発ができるように構成されています。本書の特色をご理解の上、ご家庭での学習に役立てていただき、お子様を「勉強もできる子ども」に育ててください。

■この本の特色

1・2年生では生活科として学習してきた内容が、3年生になると社会科と理科にわけて学習することになります。初めて学ぶ「社会科」に子どもたちは戸惑うかもしれません。しかし、社会科は子どもたちが生活する最も身近なところにある教科と言えます。

この本では、学習指導要領にある3年生で学ぶことがらをもとに、身近な問題から少しずつ学ぶ範囲を広げていくように構成しています。たとえば、学校生活から地域生活への広がり、毎日食べる食事の内容からその食事の材料への関心、さらに、現在と過去との関係へと広がっていきます。その中で子どもたちが少しでも興味をもち「自分で調べてみよう」という考えを持つことができればよいと思っています。しかし、ここで大切なのは、あくまでも「自分で考えて」行うことです。これから何年にもわたって学んでいく社会科の基礎を固めることが目的なのです。そのために必要な学ぶ方法、調べる方法を身に付けることに重点を置いて編集してあります。

また、子どもたちの関心を高めるために、各單元ごとに「遊び・資料ページ」をつくりました。單元に関係のある内容を深め、高学年の学習へスムーズに入っていけるよう編集されています。



この本の使い方

●おうちの方へ

問題集

ほぼ教科書と同じ流れで組み立ててあります。内容は絵や写真・地図・グラフを読み取って答えるものと、子どもたちが自分の身近なことから答えるもの、これからの改良点や検討事項などを自分なりに考えて答えるものがあります。そのため、答えが一つとは限らない問題も数多く出題されていますから、いろいろな答えが出てくると思えます。教えられたことをその通りに答えることも大切ですが、「一度自分なりに考えてみて答えを出す」習慣を身に付けさせることも重要な目的です。おうちの方もお子様と一緒に考えながら、お子様の思考の過程に注目してみてください。

資料はくぶつかん

学習内容を深め、4年生以降にスムーズにつなげることを目的につくられています。ですから、3年生としては少し詳しくすぎる資料や、取り上げている題材が幅広く、高度な内容も含まれています。すべてを理解する必要はありませんが、本編と併用することで学習内容のより深い理解と社会的な物事のとらえ方が自然にできるようになります。

さらに、お子様が興味を示した内容については、その芽を伸ばしてあげられる環境（実際に現地に行って調べてみたり、図書館で関連資料を調べるなど）を整えて戴ければより効果的です。

もくじ

●わたしの住んでいる市 ……4～9

問題集

1 住みよいまちづくり

1. いろいろな人たちの努力 ……10
2. 花や緑がいっぱいのまち ……12
3. しげんを大切に ……14
4. かんきょうをよくするには ……16
■資料 遊びのページ ……18

2 じどうセンター

1. じどうセンター ……20
2. その他の公共しせつ ……22
■資料 遊びのページ ……24

3 地図となかよくなるろう

1. 絵地図をつくろう ……26
2. 絵地図をかんたんな地図にしよう…28
3. 地図を調べてみよう ……30
4. 文を読んで地図をかこう ……32
■資料 遊びのページ ……34

4 わたしたちの生活と商店がい

1. 買いもの調べ ……36
2. スーパーマーケットを調べよう…38
3. 商店がいのようす ……40
■資料 遊びのページ ……42

5 工場ではたらく人たち

1. 工場で作られたもの ……44
2. 工場を見学しよう ……46
3. いろいろな工場 ……48
■資料 遊びのページ ……50

6 田や畑ではたらく人たち

1. 食事調べ ……52
2. 農家の仕事 ……54
3. トマトが家にとどくまで ……56
4. わたしたちの食べる米や
やさいと肉 ……58
5. 農家の人たち ……60
■資料 遊びのページ ……62

7 山や海ではたらく人たち

1. 山ではたらく人たち ……64
2. 海ではたらく人たち ……66
わたしたちの生活と魚 ……68
■資料 遊びのページ ……70

8 くらしのうつりかわり

1. 昔の道具 ……72
2. 昔のくらし ……74
3. 道具のうつりかわり ……76
■資料 遊びのページ ……78

9 世の中のうつりかわり

1. まちをたんけんしよう ……80
2. まちの仕事のうつりかわり ……82
3. まちのようす ……84
4. まちにのこるいろいろな行事…86
5. せんそうがあったころ ……88
6. 年表をつくろう ……90
■資料 遊びのページ ……92

※解答・解説は別冊になっています。

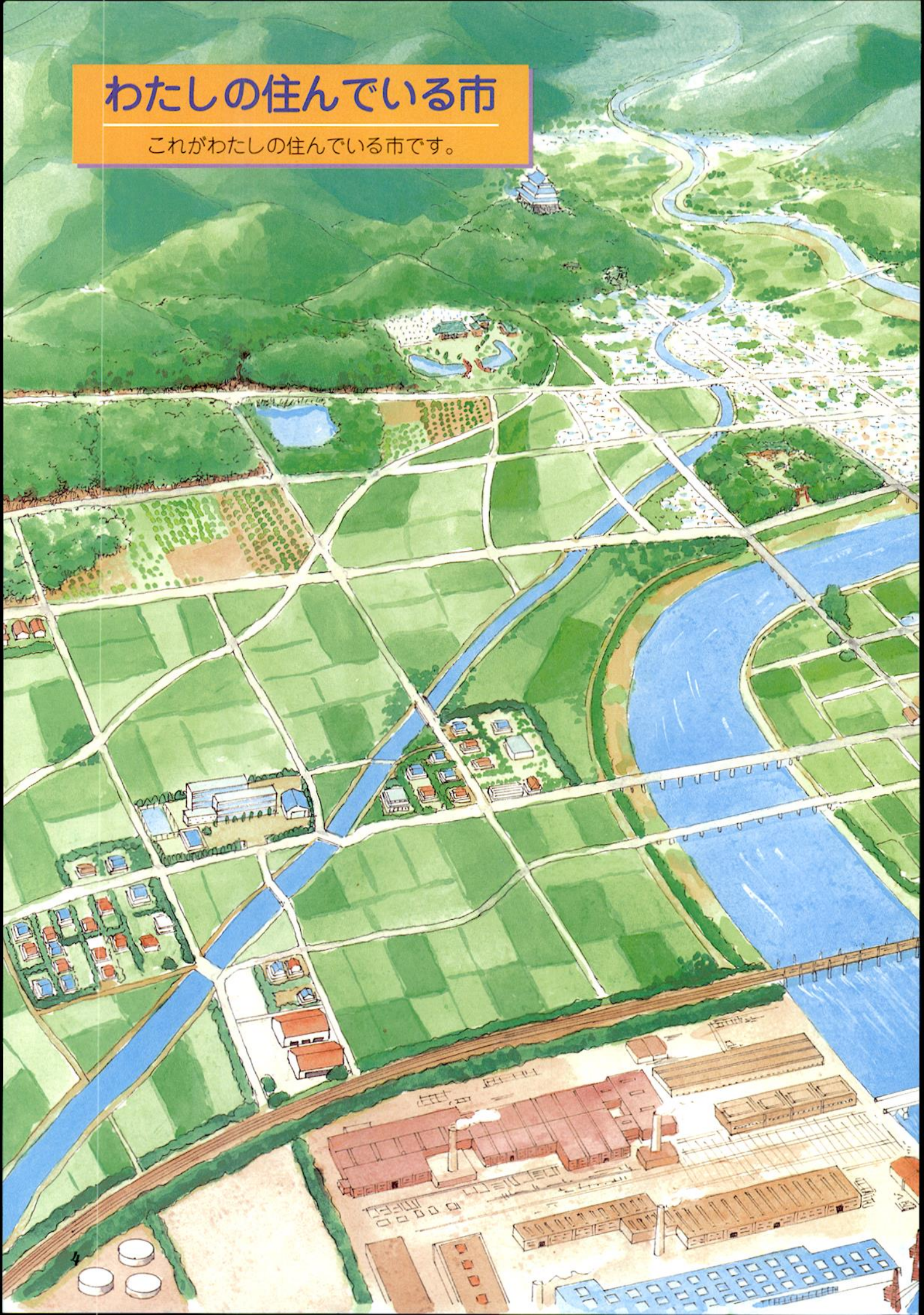
資料 はくぶつ かん

- 1 県の花・木・鳥 ……97
- 2 しげんを大切に ……100
- 3 かんきょうをよくするために ……102
- 4 遊んでみよう ……104
- 5 地図記号を調べよう ……106

- 6 ふるさと調べ ……108
- 7 工業のげんりょう ……110
- 8 1年中つくられるやさい ……112
- 9 日本人と魚 ……114
- 10 おもな博物館 ……116

わたしの住んでいる市

これがわたしの住んでいる市です。





④じどうセンター



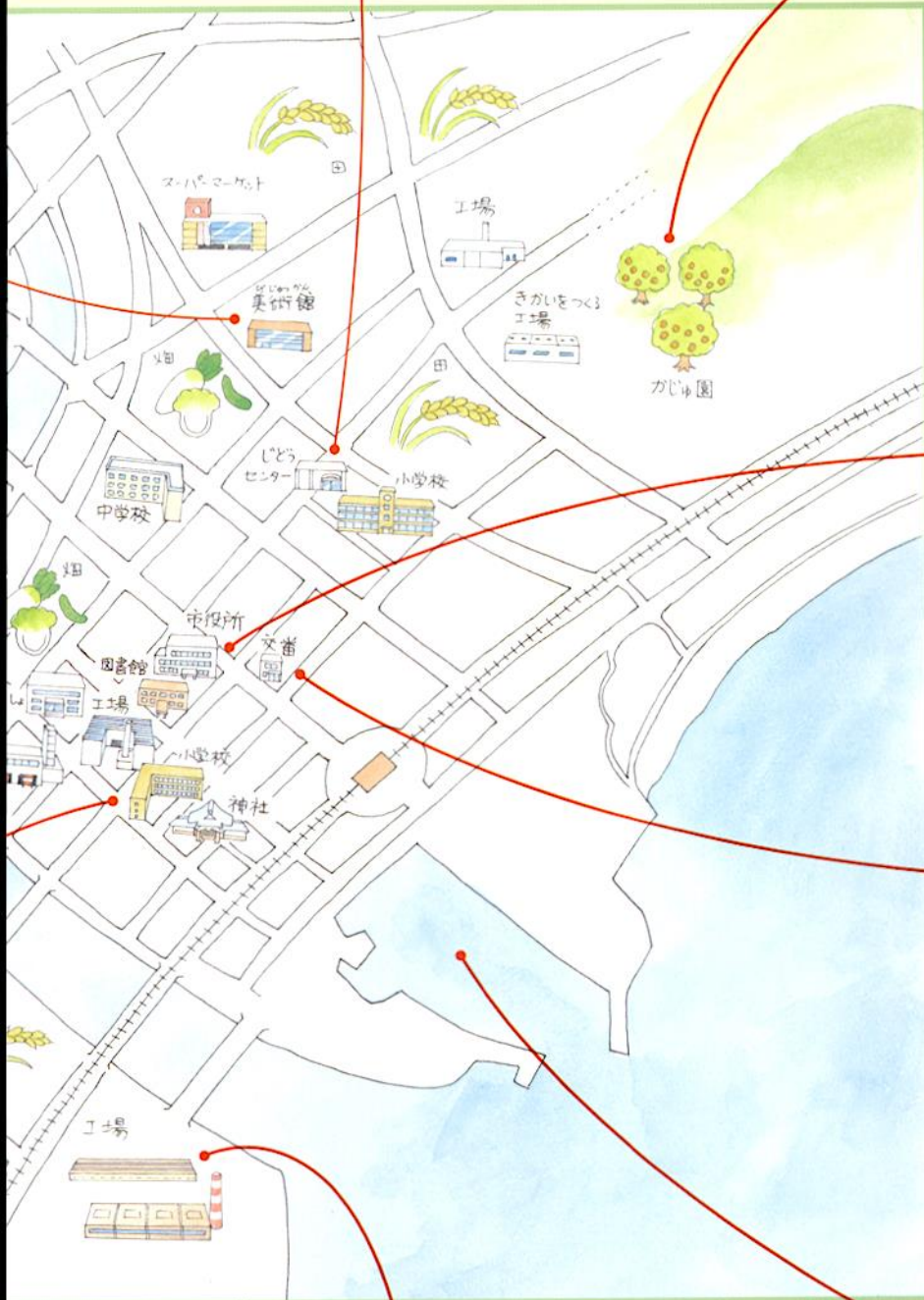
①かじゆ園



④市役所



④交番



④大きな工場



④港

1

住みよいまちづくり

1 いろいろな人たちの努力

1 住みよいまちにするために、たくさんの方がいろいろな努力をしています。次の写真の人は何をしているのでしょうか。下のア～エからえらんで□に書きましょう。



ア あんぜん安全に学校へ行けるようにしている。

イ 公園をきれいにしている。

ウ はいひん回しゅうをしている。

エ ゴミのしゅう集しゅう集しゅうをしている。

- ② 公園で花のせわをしている人たちの話です。この話を聞いてあなたはどのように思いますか。 に書きましょう。



- ③ 住みよいまちにするために、市や町がおこなっていることで、あなたもさんかしたいと思うことに○をつけましょう。

() はいひん回しゅう () 公園のそうじ
() 学どうクラブ () 町会の運動会

- ④ 住みよいまちにするために、あなたの市や町でおこなっていることを書きましょう。

② 花や緑がいっぱいのまち

① まちでみられるいろいろな花です。どんな場所にありますか。



()



()



()



()

② あなたのまちには、どんなところで花を多くみることができますか。その場所を書きましょう。そして、その花をみたとき、あなたが感じたことを書きましょう。

花のある場所 ()

あなたが感じたこと

- ③ まちの人たちが花のせわをしています。学校で花のせわをしたときのことを思いだして、どんなことをしているのか書きましょう。



- ④ 市では、花につつまれたまちにするためのポスターをつくることにしました。あなたならどんなポスターをつくりませんか。かいてください。

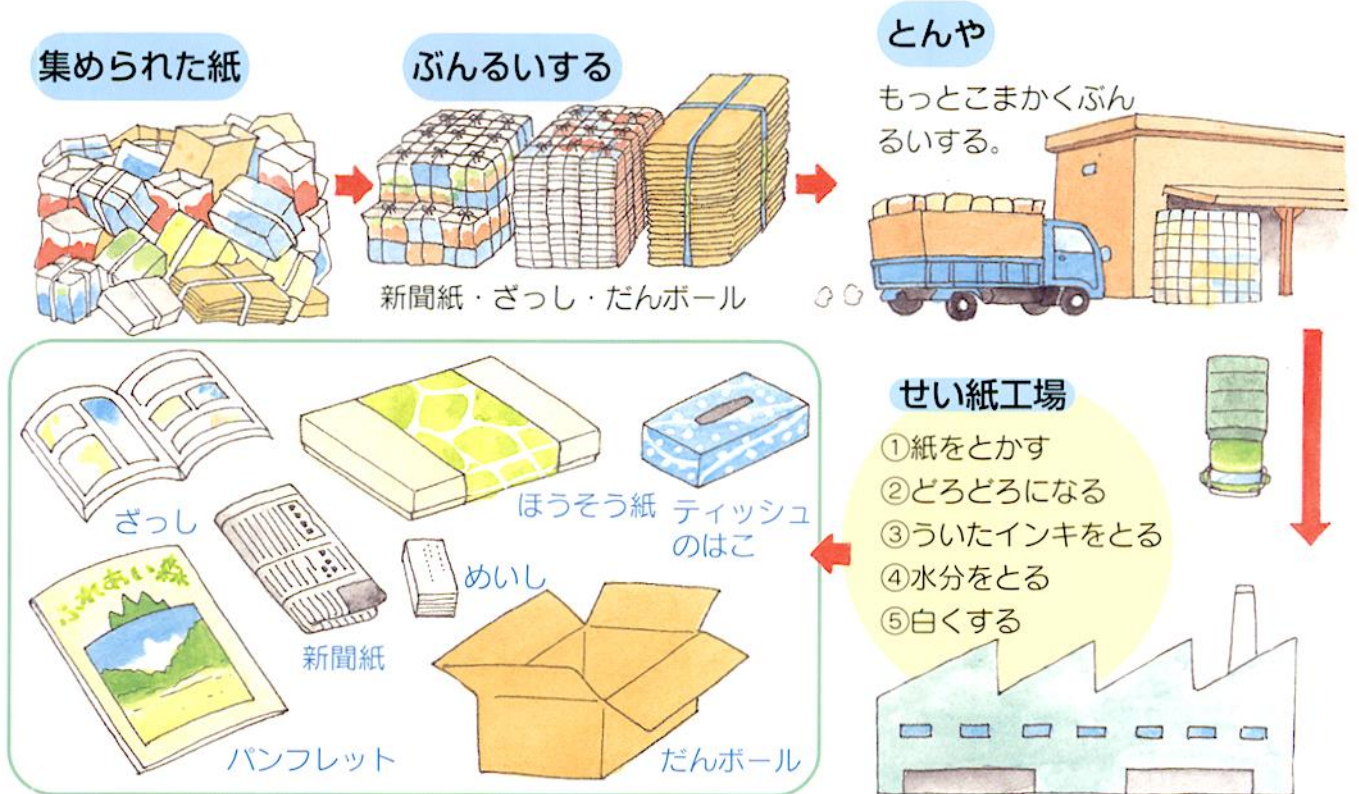


ポスターには、次のことを入れましょう。


- あなたの住んでいるまちの名前。
- 花につつまれたまちにするためのよびかけのことば。
- あなたのふやしたい花。

③ しげんを大切に

① ごみとして集められた新聞紙やざっしは、せいそう工場でもやされてはいなくなってしまいます。では、はいひん回しゅうで集められた新聞紙やざっしはどうなるのでしょうか。



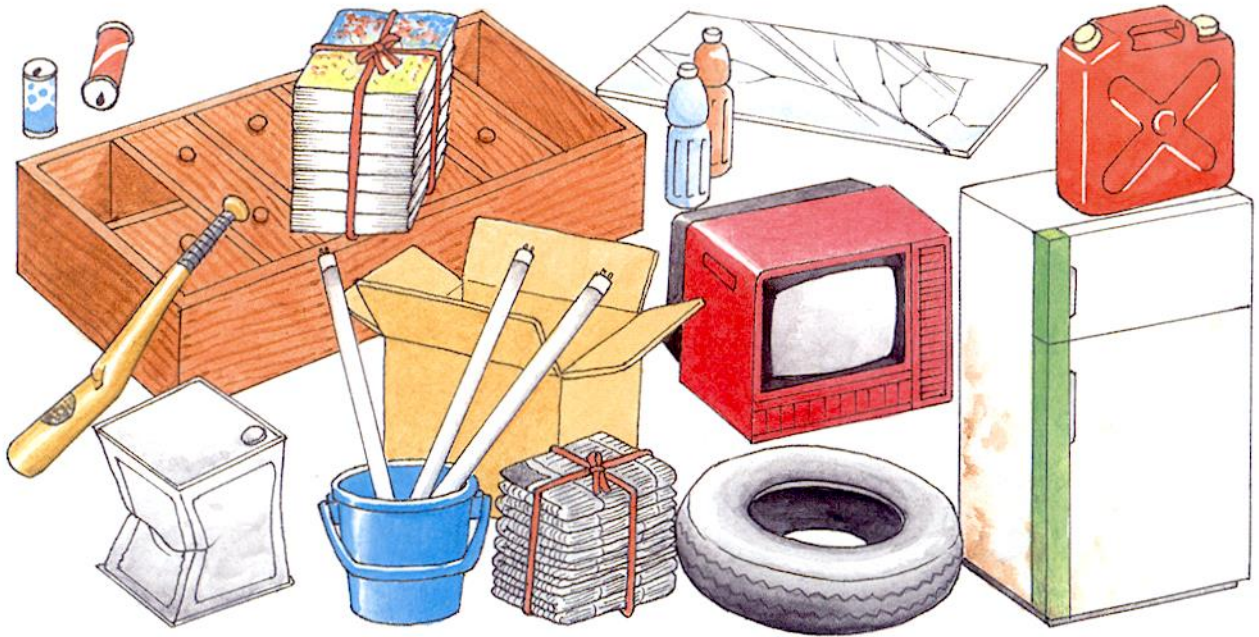
いろいろなものになっていますね。

では、右のようなしるし  をみたことはありますか。これは、げんりょうのすべてが古い紙で作られているというしるしです。あなたのまわりで、このしるしのついたものをさがして、 に書きましょう。

注意しよう はいひん回しゅうに出してはいけない紙

古い紙もいろいろな新しいものに生まれかわっているね。でも、はいひん回しゅうに出してはいけないものもあるんだよ。たとえばファックスで使われているふつうの紙でないもの、ポスターや地図に使われているやぶれない紙、それに絵本の表紙などになっている光っている紙などだよ。そして、チョコレートをつつんでいるぎん紙・ビニールなどはぜったいにまぜてはいけないんだ。

② ごみとしてすてられている次のものをぶるいしてみましょう。



紙るい	ガラスるい	きんぞくるい
石油化学せいひん		その他・大がたゴミ

リサイクルって何？

ごみとしてすててしまうと、はいなどになってしまうのですが、その中にはまだまだしげんとして使えるものがたくさんあります。このいらなくなったものを、新しく使えるようにしたり、まったくべつのもので使えるようにすることをリサイクルといいます。わたしたちのまわりには、リサイクルされたものがたくさんあります。調べてみましょう。

4 かんきょうをよくするには

1 つぎ つぎ しゃしん 次の写真はわたしたちのまわりでよくみられるものです。これによってこわされたり、よごされたりすることを () に書きましょう。



() がよごれる



() がよごれる



() がよごれる



() がこわされる

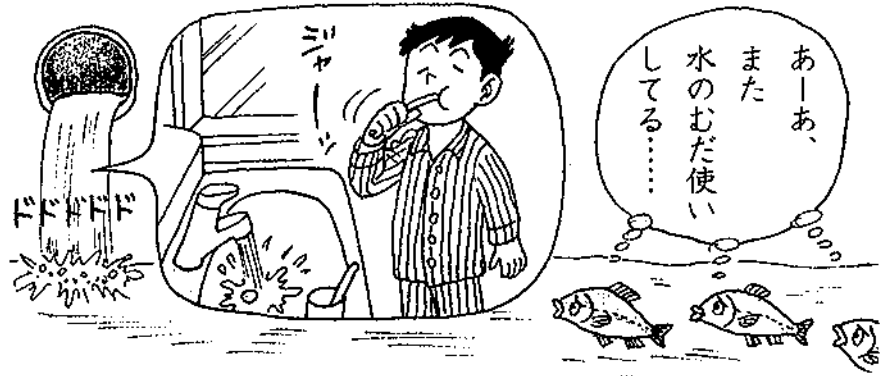
2 わたしたちのくらしのなかで水はとても大切なものです。わたしたちは1日に350リットルの水を使うといわれています。下のバケツには、1つあたり20リットルの水が入ります。1日に使う分だけ色をぬりましょう。



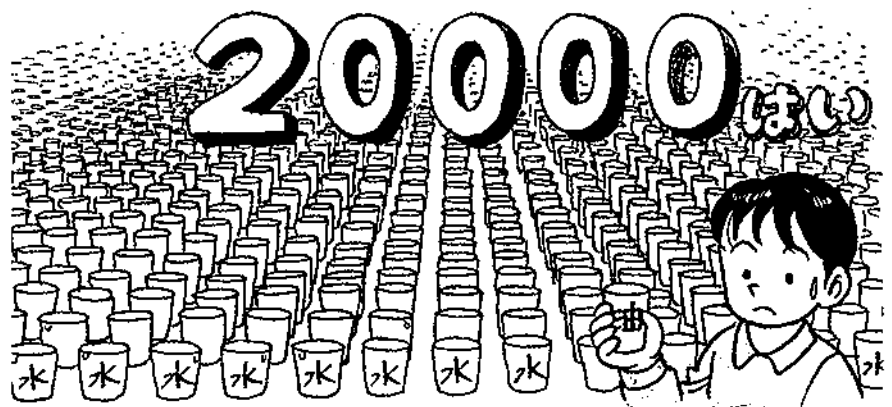
A yellow rectangular area containing two rows of ten blue-outlined bucket shapes, intended for coloring.

③ 水について、考えてみましょう。

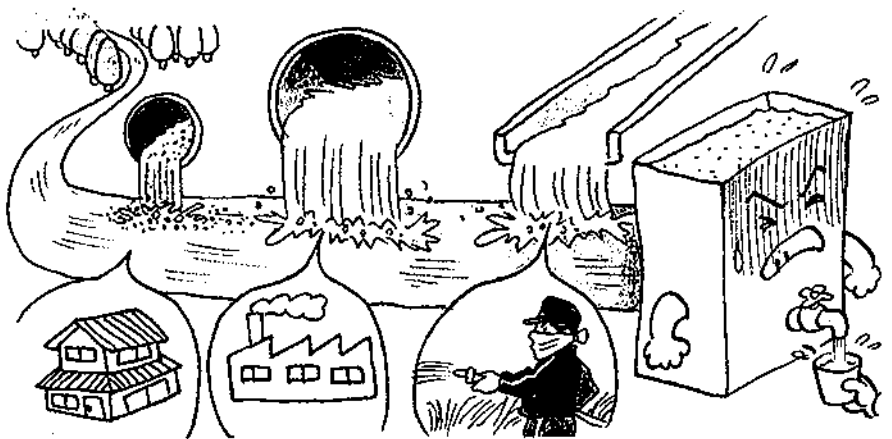
- ① 水道の水を1分間
出しっぱなしにする
と、牛乳パックで12
本分の水が流れてしま
います。



- ② てんぷら油をコップ
1ぱい流すと、それを
うすめて魚がすめるよ
うにするには、コップ
で20000はいの水が
ひつようです。



- ③ 水道の水の多くは川
の水を使っています。
川には家でよごれた水
や工場から出される
水、田や畑で使った農
薬も流れています。



①～③の文や絵をみて、水を大切にするためにはどうしたらよいのか考えて書きましよう。

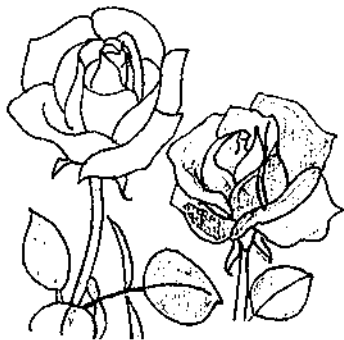
花がいっぱい — 何の花かわかるかな

下の花は県の花とされているもののいくつかです。公園にはこの都や県や市・町・村の花が多く植えられています。

ア～エの花を都や県の花としている地図を線でむすびましょう。

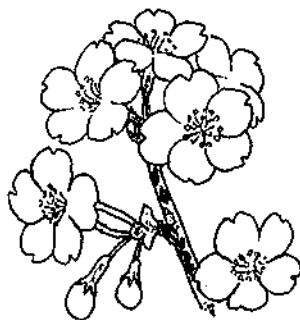
ヒントは下にありますよ。

ア



●

イ



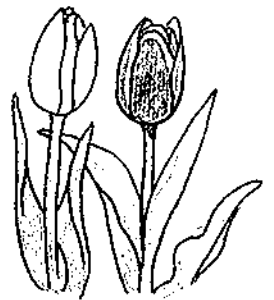
●

ウ



●

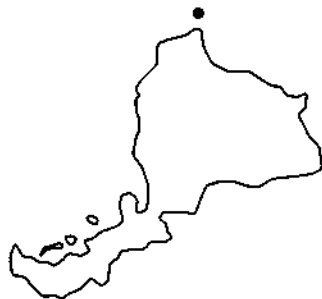
エ



●



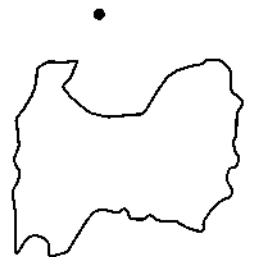
とうきょう
東京都



ふくい
福井県



いばらき
茨城県



とやま
富山県

都や県の形はちょっとむずかしいですね。4年生になるとくわしく勉強することになります。公園で木や花についている名ふだをみてみましょう。きっと、住んでいる都や県、市・町・村の木や花があるはずですよ。東京のひびや公園には、日本中の都・道・府・県の木が集められています。



アはバラ、イはさくら、ウはすいせん、エはチューリップです。

リサイクル — いつからはじまったのかな

日本では、ずっと昔からリサイクルが行われていたんだよ。

たとえば、紙はとっても高くて大事なものだったから、一度使ったものを何度も使ったり、書けなくなったものでもたたみの下にしいたり、びょうぶやふすまの下にはったりして利用したんだ。今でも、古新聞や古ざっしはトイレットペーパーなどになっているよね。

江戸時代（今から400年くらい前から130年くらい前まで）の東京は、リサイクルがとってもうまくいっていた町なんだよ。町には古くなった道具をなおす人がいたし、着物を売ったり買ったりする店や古くなった道具を売る店もたくさんあったんだ。

それに、東京の近くに住む農家の人たちにとってすごく大事なものでお金をはらって買ったものがあるんだ。何だと思う。

みんなにとって、とても身近なものだよ。今では下水道が発達しているからあまり感じないけれど、おしっこやうんちを買いにきたんだ。きたなくなんかないんだよ。時間がたつとこれがやさいをつくるのにとっても大切なひりょうになったんだ。

そして、農家の人たちからもらったお金は、みんながお正月に食べるおもちなんかになったんだって。



古い着物を売る店

